

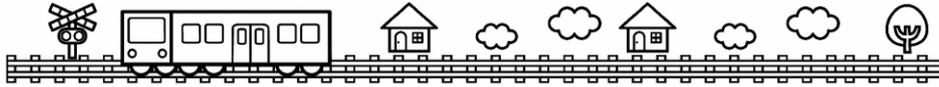
2月

尾久二だより

令和4年1月28日

荒川区立尾久第二幼稚園

園長 高橋 美香



日本の文化に親しむ

主任教諭 種田 保子

今年の始業式は鏡開きの日でした。12月に行ったもちつき会で作った鏡餅を使って鏡開きを行いました。初めて見る子が多く、「どうやってやるの?」「おもちが割れるのかな?」「先生頑張って!」と興味津々。これから1年間、皆が元気に楽しくすごせますように・・・、という願いをこめて、担任がクラスごとの鏡餅もちに木槌でたたこうとする様子を、ドキドキしながらじっと見ていました。そして、「コン!」とたたくと同時におもちが割れました。「おー!!」と拍手をする子供たち、無事におもちが割れて、子供たちと先生たち全員の喜びの瞬間でした!1年の始まりに皆で気持ちがひとつになり、これからの園生活への期待も大きくなりました。

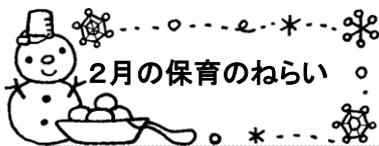


毎年、この時期は小学校の校庭で凧揚げを楽しんでいます。うさぎ組の凧は、ビニール袋に好きな絵を描いたものです。凧を飛ばすというより、凧と走る!といったものですが、子供たちは広い校庭で、たくさん走って楽しんでいました。りす組の凧は、ビニール素材の凧に竹ひごを付けて、絵を描いたものです。風を感じながら、凧が揚がる感覚は初めてです。自分の作った凧が揚がると、とても嬉しくなり、何度も走っていました。いるか組の凧は、角凧。書道体験の時に先生と一緒に自分の名前(ひらがな)の一文字を書き、和風に仕上がった立派な作品です。風とともに揚がる凧を眺めたり凧と一緒に走ったりして、自分の書いた文字(凧)が揚がると嬉しそうにしていました。



これから、まだまだ寒くなります。より一層の感染症予防をし、みなさん元気に過ごせるようお気を付けください。

3学期の園生活、今後も残りの行事や活動を、実施可能な形を工夫しながら、子供たちに経験させたいことを一番に、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。来週からはオンライン保育も実施することとなりました。どんな方法も、子供たちにとって意味のある時間にしたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



うさぎ組

- 自分なりにイメージをもって、教師や学級の友達と一緒に楽器遊びや表現遊びを楽しむ
- 自分でできることにすすんで取り組み、できた喜びを感じる



りす組

- いろいろな活動の中で、自分の力を十分に発揮する楽しさを味わう
- 思いきり体を動かして遊んだり、季節の行事を楽しんだりする
- 年長になることに期待をもちながら、遊びや生活を意欲的に進めていく



いるか組

- 自分たちで遊びや生活を進めていく充実感を味わう
- いろいろな友達によさに気付き、認め合いながら遊ぶことを楽しむ
- 修了に向けて、自分の成長を感じて自信をもつ